

サクラはうす



No. 229 2025年1月23日

そして誠一先生と凧作り。

新聞紙と竹ひごで

自分の凧を作りました。上級生が低学年を手伝っていました。グループ別で待っている方は、庭で羽根つきです。「初めてやった」という子も多く、はじめは羽子板、羽がうまく使えない子がいましたが、ここもベテラン上級生のサポートで「めっちゃ、楽しい」と。異学年との触れ合い学童のよさですね。

お知らせ

- 「お正月を生けよう」でつけた黒い器を、ご返却ください。
- まだインフルエンザ等流行っています、マスクを持たせてください。運動するときなどは取らせています。
- 令和7年度入所申請結果をお届けします。少人数を考えておりましたが高学年等ご希望を大事にしました。

あけまして

おめでとうございます

今年もよろしくお願いします

穏やかな天気めぐまれた

お正月、また冬休みの最終

日がサクラはうすの新年の

はじまりでした。心配したインフルエンザも下火になったようで、久しぶりのお友達との会話がはずんでいました。朝は初ゲーム、福笑い、双六、かるた昔からの遊びを楽しみました。

サクラはうすの庭から

まんさくは、木々の芽吹きも始まらない季節に花を咲かせ、いち早く春を告げる花木です。「まず咲く」や、「真っ先」が変化して、名前に。サクラはうすのまんさくはシナまんさく。去年の葉が落ちずに花を守るように枝についています。花がよく咲けば豊作、少なければ、不作。稲の作柄を占う植物としてふるくから人とのつながりがありました。



凧あげをしました。凧が強くいい天気でした。最初敗れてしまったけど直したら、ものすごく高く飛びました。糸をまくのが大変でした。からまつたりしないで高く飛んだ自分の凧、うれしかったです。

凧あげ

刈谷 孝太